

活動報告

- ◆活動名 安全講習会
- ◆日時 2023年5月14日(日) 9時半～15時15分
- ◆目的 作業時の安全管理を確認し、活動時に生かせるようにする
- ◆活動区域 カブ森 A 地区
- ◆参加者 計 13名
- ◆活動内容

①座学(9:30～10:45)

作業時の安全について気が付いたこと、経験共有中心に出席者からでたテーマについて、皆で話をして意見交換をしました。以下、参加者から出た意見です。

- ・ツルの残し方を確認したい。⇒意見交換
- ・刈払機での事故例について。⇒対策を確認
- ・“慣れ”が事故のもと。講習会は有意義。⇒体験共有
- ・複数の作業を隣り合って進めることがあって気になった事例。
- ・森会で初めて伐倒を体験、迫りに圧倒され安全を考える端緒となった。
- ・機械を使う時はチームで交替しながらが良い。⇒提案
- ・“作業リーダー”の指名基準は?⇒世話役が当日依頼しているが、今後は前日までに本人伝え、事前の心積もりができるようにしたい。
- ・上下作業になりそうな場合は早目に声掛けしたい。⇒提案
- ・マダニの駆除は依頼できないものか?⇒提案、ロープ張りの意義について。⇒解説
- ・斜面での刈払機は一人ではハードな上危険。⇒チームで作業

振り返りで、一番怖いのは「慣れ」。慣れが気の緩みにつながり事故の原因になるので、年に一度は慣れを払しょくして初心に帰るという意味で、ベテランも初心者も安全講習会は大切だという意見がありました。その後、道具準備をしカブトムシの森へ移動、早めの昼食としました。

②伐倒実習(～14:35)

始めに“伐木作業の手順”を復習し4班に分かれ手順に従って、伐倒方向の決定、マーキングの仕方、“引き解け結び”などのロープワークなど、経験の浅い会員を中心に実習を行いました。その後2班に再編して、それぞれ直径22cmのクヌギの伐倒に臨みました。受け口作りで水平維持や会合点の保持に手間取る場面もありましたが、新たに導入した中ノコの切れ味が良かったこともあり、順調に伐倒することが出来ました。道具確認、各自の振り返りをして撤収しました。



〈集合写真・ベテランから初心者まで賑やかに〉



〈皆で確認しながら作業手順を復習〉